

平成26年度ぴゅあ総合主催講座

山梨県立大学地域研究交流センター「やまなし地域女性史『聞き書き』プロジェクト」連続公開講座

「聞き書き証言集 伝えたい 山梨の女性たち 第2集」刊行記念講座

やまなしの 女性史を学ぶ

【第1回】11月9日（日）午後1：30～4：00 ぴゅあ総合・中研修室

「差別をなくして美しき生涯をめざそう！ ―戦後女性教師の待遇と改善に挑んで」

講師：上田京子（元山教組女性部長、元日教組女性部長、元山梨県退職・現職女性教職員の会会長、全国退職女性教職員の会会長）

古屋敏子（元山教組女性部長、山梨県退職・現職女性教職員の会会長、山梨県女性団体協議会副会長）

コーディネーター：吉原五鈴子（元県立男女共同参画推進センター館長・プロジェクトメンバー）

「教師」は、明治時代に女性が手に入れた新しい職業の一つです。山梨でも、女子の就学率の高まりと共にその数は増えていきましたが、その社会的な地位や待遇はどのようなものだったのでしょうか？ 特に、戦後の女性教師たちが、自分たちの状況をどうとらえ、何を課題として改善に取り組んできたか、先頭となって活躍されたお二人にお話をいただきます。

【第2回】11月29日（土）午後1：30～4：30 ぴゅあ総合・小研修室

基調講演「等身大の女性像を描くことの意味―「樺美智子」の検証を例に」

講師：江刺昭子（女性史研究家）

1960年6月15日、日米安保条約の改定に反対する国会デモの中で、22歳の東大生樺美智子が死亡しました。「60年安保」ただ一人の死者でした。そのため彼女は偶像化されてしまったのではないかと――江刺昭子さんは『樺美智子 聖少女伝説』（2010年）にその死の真相や実像をまとめました。この作業を事例として、講師自身の女性史との出会いや方法論、現在の私たちにとっての意味などを語っていただきます。

シンポジウム「地域女性史研究の意義と課題 ―私たちの活動をふり返って」

シンポジスト：亀井喜美子（さがみ女性史研究会さねさし）

山中淑子（やまなし地域女性史「聞き書き」プロジェクト）

コメンテーター：江刺昭子（女性史研究家）

コーディネーター：池田政子（山梨県立大学名誉教授・プロジェクト代表）



キャンパスネットやまなし連携講座

主催・お問合せ

山梨県立男女共同参画推進センター

ぴゅあ総合

TEL:055-235-4171 FAX:055-235-1077

〒400-0862 甲府市朝気 1-2-2

danjo-c@yamanashi-bunka.or.jp

無料託児あります。



6か月～就学前
3日前までに
ご予約ください。

会場 MAP

